

復興インタビュー JA児湯肉用牛部会 会長 長友 司



現在、牛の導入は町全体で発生前の66%程度です。震災や安曇楽牧場などの影響で牛肉離れや子牛の市場価格低下など問題はありますが、これからも防疫対策をしっかりと、良い牛を供給していきたいと思えます。消費者の方も地産地消の観点から、牛肉のさらなる消費をお願いします。

復興インタビュー 新富町商工会 会長 中下和幸



日本経済が低迷し消費が鈍っている中で発生した口蹄疫と鳥インフルエンザは、輪をかけて本町の経済を低迷させ消費が落ち込みました。商工会では、助成金によりこれまで6回にわたり、町内で使える商品券を発行しました。消費が上向き即効性はあったと思われます。今後は、農商工連携などを通じて、相乗効果により、経済の活性化に繋げていきたいと考えております。

復興インタビュー 新富町長 土屋良文



今、新富町は、一人ひとりの「絆」を大切に、町民一人ひとりの輪を広げ復興に取り組んでいます。この原動力こそ、町民の力「新富力」であります。これから町民の力を結集し、「新富力」をもって「やっど新富」の意気で、「キラリと輝く元気な新富町」を創っていきましょう。

復興インタビュー 児湯養鶏農業協同組合 組合長 瀧本憲男



現在、鶏の導入は、発生前の90%まで回復し、防疫設備も町の助成により強化され、組合員も研修等通じて防疫意識が向上しております。今後は、卵の需要も順調に回復しており福岡・大阪などの市場からも引き合いが来ている状況ですので、より一層安心安全な卵を供給していきたいと思えます。

畜産農家・各団体・行政（町）が連携し知恵を出し、**新富力**を発揮し、復興へ向かっています。 **やっど新富！**

● 商業 ● 畜産農家 ● 行政（町）

農



牛再導入



鶏再導入



灯籠流し（一ツ瀬川）



慰霊祭（町営牧場）



畜産農家を対象にした口蹄疫防疫研修会



畜産農家へ消毒薬の配布



口蹄疫復興新富物産フェア（名古屋市松坂屋）



口蹄疫復興新富物産フェア（東京駅）



埋却地の草刈作業



補助事業による消毒ゲート設置



口蹄疫復興まつりしんとみ 2010

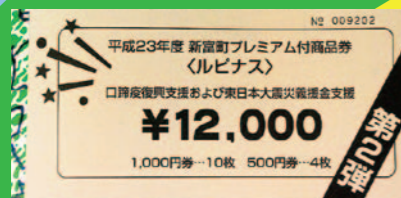


導入牛に対する助成（産地再生補助金）



補助事業による防鳥ネット設置

商



口蹄疫復興プレミアム商品券販売



口蹄疫復興観光・食ガイドブック 行っど新富作成

町